



平成 29 年 3 月 24 日

各 位

会 社 名 K I ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 山口 常雄
 (コード番号 6747 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 取締役 若林 秀和
 (TEL 045-826-6711)
 当社の親会社 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 三原 弘志
 (コード番号 7276 東証第 1 部)

平成 29 年 9 月期 第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 10 月 24 日に開示いたしました平成 29 年 9 月期 第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期 第 2 四半期累計期間(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) 予想数値の修正

(1) 修正の内容

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,000	百万円 3,700	百万円 3,600	百万円 2,300	円 銭 55.50
今回修正予想(B)	24,200	1,600	1,700	1,000	24.13
増減額(B-A)	△5,800	△2,100	△1,900	△1,300	△31.37
増減率(%)	△19.3	△56.8	△52.8	△56.5	—
(ご参考) 前期実績	30,937	3,963	3,958	3,470	83.75

－ 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 100	百万円 △500	百万円 300	百万円 700	円 銭 16.89
今回修正予想(B)	100	△500	300	400	9.65
増減額(B-A)	—	—	—	△300	△7.24
増減率(%)	—	—	—	△42.9	—
(ご参考) 前期実績	218	△410	381	1,834	44.26

(2) 修正の理由

一連結：売上高につきましては、中国における高速鉄道の発注量が減少したことに加え、国内における情報板等の公共事業向け受注が競争激化により減少し、前回発表予想に対し減収となる見通しであります。営業利益につきましては、高付加価値である中国高速鉄道向け商品の売上減少、及び国内向けの売上減少により前回発表予想に対し減益となりました。また、これを受けて経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前回発表予想に対し減益となる見通しであります。

一個別：四半期純利益につきましては、連結納税に係る法人税等の増加により、前回発表予想に対し減益となる見通しであります。

2. 平成 29 年 9 月期 通期(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) 予想数値の修正

(1) 修正の内容

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,000	百万円 5,000	百万円 4,900	百万円 2,700	円 銭 65.15
今回修正予想(B)	45,000	2,400	2,500	1,300	31.37
増減額(B-A)	△7,000	△2,600	△2,400	△1,400	△33.78
増減率(%)	△13.5	△52.0	△49.0	△51.9	—
(ご参考) 前期実績	52,593	5,312	5,005	3,375	81.46

－ 2 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 200	百万円 △1,000	百万円 2,000	百万円 2,400	円 銭 57.91
今回修正予想(B)	200	△1,000	1,100	1,200	28.96
増減額(B-A)	—	—	△900	△1,200	△28.95
増減率(%)	—	—	△45.0	△50.0	—
(ご参考) 前期実績	329	△979	1,537	2,825	68.19

(2) 修正の理由

- －連結：売上高につきましては、中国における高速鉄道の発注量が減少したことに加え、国内における情報板等の公共事業向け受注が競争激化により減少し、前回発表予想に対し減収となる見通しであります。営業利益につきましては、高付加価値である中国高速鉄道向け商品の売上減少、及び国内向けの売上減少により前回発表予想に対し減益となりました。これを受けて経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回発表予想に対し減益となる見通しであります。
- －個別：経常利益につきましては、受取配当金の減少等により、前回発表予想に対して減益となる見通しであります。当期純利益につきましては、経常利益の減少及び連結納税に係る法人税等の増加により、前回発表予想に対し減益となる見通しであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上